

海況速報

平成 25 年度 第 3 号 (通算 No.153)
平成 25 年 8 月 5 日
北海道立総合研究機構 水産研究本部



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境グループ
Tel 0135-23-4020
ckaiyou@fishexp.pref.hokkaido.jp

7 月下旬～8 月上旬の海況

☆日本海海域

積丹半島の北西沖に強い暖水渦が形成されています(指標:200m 層水温 6°C)。また、日本海のはるか沖合から石狩湾にかけて沖合冷水が張り出しています(指標:200m 層水温 3°C 以下)。このため、対馬暖流は積丹半島までは沿岸よりを北上していますが、積丹半島付近で大きく北西方向へ迂回し、蛇行した流路になっています。

対馬暖流の流量は、例年よりも 5 割程度多くなっています。

水温は、表面では全域にわたり、例年よりも 1~3°C 高くなっています(水温偏差表参照)。また、50m~100m 層では、蛇行した対馬暖流の幅が広がった海域で、例年よりも水温が 3~7°C 高くなっています(水温偏差表参照)。

余市における旬平均水温は、6 月中旬から平年よりも高く推移し、7 月中旬からは「かなり高い」状態が持続しています。

☆道東太平洋海域

親潮系水(指標:100m 層水温 5°C 以下)が道東海域を広く覆っており、道東沿岸の根室から釧路にかけては、50m 層水温 5°C 以上の道東沿岸流(*1)が流れています。また、沖合の北緯 42 度、東経 146 度の海域では深度 50m を中心に黒潮系北上暖水(指標:50m 層水温 7°C 以上)がみられます。

水温は、表面ではほぼ全域にわたり、例年よりも 1~3°C 高くなっていますが、下層では黒潮系北上暖水の分布する海域を除き、例年よりも低い海域が多くなっています(水温偏差表参照)。

☆道南太平洋海域

津軽暖流は渦モード(*2)です。また渦から派生した流れが苫小牧沖に達しています(指標:100m 層水温 10°C 以上)。

水温は全体的に例年並の海域が多くなっています(水温偏差表参照)。

☆オホーツク海海域

宗谷暖流(指標:50m 層水温 7°C 以上)がオホーツク沿岸を順調に流れており、知床半島を離岸後北緯 45 度海域まで北上しています。

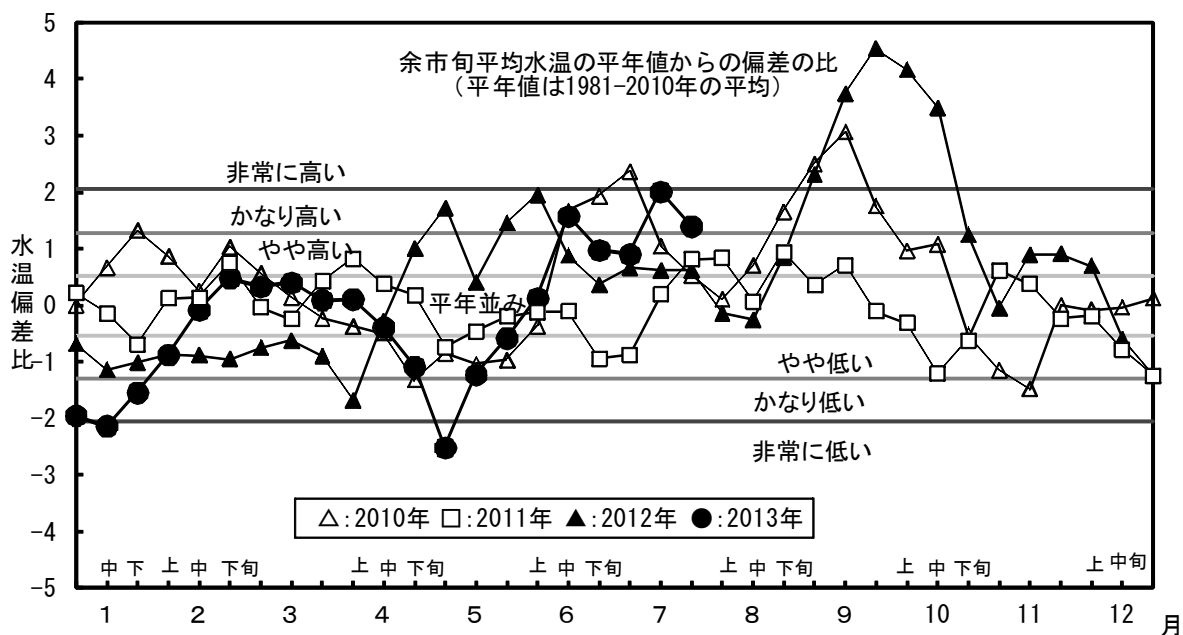
水温はオホーツク沿岸域で例年並みですが、知床半島北方の北緯 45 度の海域では例年よりも最大で 11°C 高くなっています(水温偏差表参照)。

資料	観測期間	観測海域
稚内水試(北洋丸)	2013/7/29-8/1	(道西道北日本海海域)
稚内水試(北洋丸)	2013/7/22-7/24	(オホーツク海海域)
釧路水試(北辰丸)	2013/7/23-7/29	(道東道南太平洋海域)
函館水試(金星丸)	2013/7/29-7/31	(道西道南日本海海域)

*1: 夏～秋季に道東沿岸を流れるオホーツク海起源の沿岸流を道東沿岸流と呼んでいます。

*2: 津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋崎からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、

津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



「海況速報」は中央水産試験場ホームページに掲載しております。

また、同サイトにて余市前浜水温がご覧になれます。

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/index.htm>

余市前浜水温の携帯サイトはこちらから

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/keitai/k-index.html>

右に QR コードがあります。



